

第七十七回句会 俳句

【高点句】

- ☆閉じられし寂聴庵の障子かな 〈一馬〉
☆愛らしきマリアが二人聖夜劇 〈美保〉
☆母にまだ聞く事多し年用意 〈美保〉
☆夫の部屋駒音微か白障子 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・ 祝日の人も落葉も掻き分けて 〈安津子〉
・ 寒雲や転移の報に麵伸びて 〈緑〉
・ 孕みたる光ほぐして散る紅葉 〈美保〉
・ 海に向く古りし教会冬ざる 〈伸子〉
・ 空青き映える紅の葉芒原 〈隆司〉
・ 再びの二人暮らしや冬紅葉 〈青蛙〉
・ たくたの辞書捨てられず漱石忌 〈眞澄〉
・ バーガーの袋あたたか落葉踏む 〈郁代〉
・ 昼も夜も尽きることなく銀杏散る 〈哲雄〉
・ 紅葉散る百人番所の屋根の壁 〈一馬〉
・ 去年より小さき母へカーディガン 〈明美〉
・ 紅葉散る幼い吾子がゆびさして 〈莫院〉
・ 落葉掃く黄色い山と赤い山 〈撫子〉

* 以上、38句（3句ずつ12名と1句が2名）より、選句は14名により4句ずつ

* 高点句は、高得点の句より3句（今回は第3位が同点で2句）

* 各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載／1名は掲載辞退）